

## DXによる地域課題解決（PBL）合同発表会を開催

2025年2月13日（木）に「山口大学・山口県立大学・山口学芸大学DXによるPBL合同発表会」を、本学の厚生棟において開催しました。今回の合同発表会は昨年に続き2回目の開催で、企業・団体の参加者74人を含め、232人が参加しました。

最初に吉村副学長がSPARC事業とDXによる地域課題解決（PBL）について説明を行った後、2024年度に実施した18テーマについてポスターを展示しました。本学からは、9グループが発表を行いました。

今回の大きな特色として、県内企業・事業所にDX-PBLを知ってもらう機会を設けるとともに、学生には企業・事業所と話す機会を提供することを目的に「テーブルトーク」を実施しました。県内企業12社と3つの団体に参加してもらい15のテーブルに分かれ、「地域課題と地元企業の関わり方」「人口減少に対応した地域づくりについて」「学生の考える人生設計とその中での就活における企業選びについて」など15のテーマに沿って学生と企業・団体が熱心にトークを行い、その内容はトーク終了後に掲示しました。



### <ポスター発表を行った本学のグループ一覧>

テーマ	連携先企業・団体名	参加学生数
東部地域グローバル人材育成事業に携わる	山口県教育庁高校教育課	国際文化学科 10人
AI・若者・消費者のアイデアを比較する： スーパーマーケットの売り場戦略	株式会社丸久	国際文化学科 4人
外国人観光客や若者をターゲットにした山口県の魅力を伝えるメソッド	株式会社ケイ・アール・ワイ・サービスステーション	国際文化学科 5人
山口を支える安心安全マップ&山口市のイベントマップ	やまぐちDX推進拠点 Y-BASE	国際文化学科 6人
やましろ地域の歴史と観光と名産	やましろ商工会	国際文化学科 4人
地域の人々との親睦を深める70周年イベントの企画と実施	株式会社シーパーツ	国際文化学科 4人
空き家プロジェクト	株式会社田村ビルズグループ	国際文化学科 4人
新卒就活サイト運営企業と考える「新しい就活！」	株式会社Be win	国際文化学科 4人
県内企業の魅力を伝える、広報用デジタルコンテンツ作成	株式会社エス トラスト	国際文化学科 4人

## 2025年度のSPARC推進室

2025年度よりSPARC推進室は2号館4階（B402～B405）に移転しました。移転に伴い、電話番号も変更となっています。SPARC推進室では事業推進のため、さまざまな機材の貸し出しを行っておりますので、積極的なご活用をお願いします。

SPARC推進室室長 岩野雅子(副学長)  
 SPARC推進室副室長 吉村耕一(副学長)、水野久敬(将来構想推進局長)  
 SPARC推進室員 末本哲雄、藤田采花(以上特任教員)、有山結花(実習助手)、林省一(管理・コーディネーター)、池田祥人(地域事業連携コーディネーター)、渡部あい(事務職員)、西田光一(国際文化学部長)、池田史子(基盤教育センター長)、阿部真育(DX・IR推進室長)、山田正和、塚本淳一、西村章宏(以上法人経営部)、中村早苗、田坂真理(以上教育研究支援部)

### <コンソーシアム・タスクフォースチーム、部会>

- \* 連携開設科目に関する検討チーム：畔津忠博(国際文化学部)、荒木麻耶(国際文化学部)、中村早苗
- \* SPARC-LMS構築チーム：吉永敦征(国際文化学部)、大高光輝(国際文化学部)、香川正宏(DX・IR推進室)
- \* SPARC教育プログラム教学IRチーム：岩野雅子、阿部真育、高野純一(DX・IR推進室)、林省一
- \* 高大接続推進チーム：岩野雅子、田坂真理、林省一
- \* リラレント教育推進チーム：岩野雅子、藏田典子(国際文化学部)、有山結花、小林亮彦(教育研究支援部)
- \* PBL実施部会：吉村耕一、長田和美(国際文化学部)、末本哲雄、池田祥人

<電話番号> 929-6519(有山)、929-6514(林、池田、渡部)、929-6528(藤田)、929-6529(末本)

## 令和6年度地域活性化人材育成事業～SPARC～ 全国シンポジウムを山口市で開催（2025.3.6-7）

2025年3月6日、7日の両日、「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択された各事業の関係者や本事業に関心を持つ方々を対象に、KDDI維新ホールでシンポジウムを開催しました。各地域が展開する特徴的な取り組みを共有し、相互理解を深めることが目的です。

“「連携と共有」で創る、大学教育の未来”が今回の全国シンポジウムのテーマです。初日の3月6日には、学校法人東京家政学院理事長・筑波大学名誉教授の吉武博通先生が「連携と共創が拓く地域の未来」と題して基調講演を行い、採択地域の事業説明が行われました。吉武先生の基調講演では、社会と高校の現実を踏まえた大学改革の視点が重要であることや、地域の持続可能性と大学の果たす役割を考える中で、SPARC事業を活用するなどの提言をいただきました。

2日目の3月7日は、「連携開設科目」「地域拠点を活かしたPBL」「リカレント」をテーマとしてクロストークが実際されました。「連携開設科目」では、岩野副学長がファシリテーターを務め、山口大学の野崎先生が3大学で実施する連携開設科目の開設に向けた準備、具体的な実施要項、SPARC教育プログラムの内容などについての話題を提供しました。

「リカレント」のクロストークでは山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター長の小野寺先生が、様々な分野の起業家、企業経営者、専門家を講師に迎え、多くの県内外の方々が幅広く聴講するアントレプレナー教育の実践について説明しました。

シンポジウムの詳しい資料は、やまぐち共創大学コンソーシアムの「地域活性化人材育成事業」のウェブサイトに掲載しています。  
<https://www.yamaguchi-sparc.jp/post-2134/>



### SPARC推進室に新しいメンバーを迎えました 藤田采花(ふじた あやか)特任教員(講師)

初めまして。SPARC推進室特任教員の藤田采花です。SPARC事業では、数学やデータサイエンス関連授業科目の補助や、授業外での学習相談などに携わります。

教員として学生の皆さんの学習支援に携わるため、これまでの研究活動や子ども向けの科学のイベントに携わってきた経験を活かしたいと思います。誰かの学びのきっかけになりたいという思いが強いですので、わかりやすく伝えることを心がけながら、学生の皆さんにきめ細かな支援ができるよう努めていきたいと思っています。

微力ながら学生の皆さんの学びのサポートができればと思っています。よろしく願いいたします。



### SPARC推進室に新しいメンバーを迎えました 有山結花(ありやま ゆうか)実習助手



本年度よりSPARC推進室の実習助手となりました、有山 結花と申します。昨年度は国際文化学部文化創造学科の実習助手として、主にデザイン創造コースの演習や実習のお手伝いをしておりました。

私は学生時代を本学で過ごし、プロダクトデザイン研究室に所属しておりました。Adobe IllustratorやAdobe Photoshopのようなグラフィックデザイン系のツールと、レーザー加工機などものづくり系の機械が得意です。

今年度は主にPBL関連の授業補助や広報に携わる予定です。時代や地域のニーズに合わせて変化していく山口県立大学の中で、地域の将来を担っていく学生さんを育てるお手伝いができればと思っています。よろしく願いいたします。

#### 編集後記

2025年度がスタートしました。今年度新たに設置した情報社会学科には44人の学生を迎え、国際文化学部全体で154人が入学し、文系DX人材を育てる“SPARCプログラム”が本格的に始動しました。今年度は連携開設科目として「データ科学と社会Ⅱ」「知的財産入門」「データ科学のための基礎数学」「地域文化論」が新たに始まります、これまでなかった分野に対し、学生がどのように感じるのか気になるところです。

今年は、SPARC事業が始まって折り返し点を迎えます。10月には中間評価の实地調査が実施されます。これまでの取組が評価され、今後の継続・発展につながるよう支援していきます。

<SPARC推進室> 内線：6514 E-mail：sparc-kendai@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp